

わこう 市議会だより

No.
123

2024年2月1日発行

編集 和光市議会 議会運営委員会
TEL 048-424-9108(議会事務局直通)

今号は、令和5年12月定例会の
あらましをお知らせします

令和5年12月定例会は11月30日(木)から12月
21日(木)までの22日間開催され、市長提出議
案13件、諮詢2件、議員提出議案4件、陳情1件
について審議しました。

議会報告会を開催

令和5年11月1日(水)に、和光市役所議事堂3階の全員協議会室で議会報告会を開催し、7名の方にご来場いただきました。

当時は、予算決算常任委員会委員長が総括的な決算について報告を行い、続いて、予算決算総務環境分科会会长及び予算決算文教厚生分科会会长が、9月定例会で審査した一般会計・特別会計の決算概要について報告しました。

報告会の後、市政全般についての意見交換会を行いました。皆様からいただきましたご意見、ご感想を念頭に、様々な議会活動を通して市政へ反映させるとともに、今後につきましても試行錯誤しながら議会報告会を開催し、より開かれた議会を目指して取り組んでまいります。



本会議場に 国旗と市旗を掲揚

9月定例会において、陳情第5号「和光市議会本会議場に国旗及び市旗を掲揚することを求めるに関する陳情」が賛成多数で採択され、12月定例会から議場に国旗と市旗を掲揚しています。



12月定例会の主な議案 和光市のこんなことが決まりました

【議案第84号に関し、決議案3件を提出】

◆議員提出議案◆

決議案第1号 大島秀彦副市長に対する問責決議【原案可決(賛成多数)】

議案第84号の採決の前提として、①元職員の不祥事に関する責任、②議会に対する態度、③通勤手当の二重受給について、副市長に対する責任を問う決議を可決しました。

◆議員提出議案◆

決議案第2号 松本武洋前市長に対する非難決議【原案可決(賛成多数)】

事件の全容、原因も明らかになっていない中、再発防止策を講ずることもないまま辞職した前市長に対し、自身の判断において責任を取ることを強く求める非難決議を可決しました。

◆議員提出議案◆

決議案第3号「議案第84号 損害賠償の額の決定及び和解について」に対する附帯決議【原案可決(賛成多数)】

国家賠償請求に関し、 市の管理責任の追求と市民説明を要望

税金を弁済に充てるという重大な議決のため、市の管理責任や当事者への対応など、以下の事項を要望する附帯決議を可決しました。

- ①当事者に対して真摯に謝罪すること
- ②副市長に対する管理監督責任を追及し、相応の処分を行うこと
- ③前市長、副市長に対して、市の支出に対する補填のため、あらゆる手段を検討すること
- ④市民説明の場を設け、市長同席のもと説明責任を果たすこと
- ⑤令和6年3月定例会告示日までに①～④を実行すること

8,554万5千円で取得することについて、原案のとおり可決しました。

◆議員提出議案◆ 決議案第94号 和光市副市長定数条例の一部を改正する条例を定めることについて【原案可決(賛成多数)】

副市長の定数を2人以内に改正

市役所のガバナンス体制の強化及び組織マネジメントの推進を図る観点から副市長の定数を「1人」から「2人以内」と改正することについて、原案のとおり可決されました。



●議員提出議案の詳細は市議会ホームページをご覧ください▶

■議案第89号 和光市水道事業給水条例の一部を改正する条例を定めることについて【原案可決(賛成全員)】

水道料金の値上げを可決

10月引き落とし分から

和光市水道事業経営戦略の検証及び諮詢に対する和光市水道事業審議会からの答申により、全体の料金上昇率を14%と設定した水道料金の改正等所要の改正を行うことについて、原案のとおり可決しました。

■議案第82号 財産の取得について【原案可決(賛成全員)】

第三小学校敷地内の国有財産を取得

第三小学校敷地内の国有地6,986.83m²を7億

常任委員会が 行政視察を実施

総務環境・文教厚生常任委員会が、所管する事業の先進地視察を行いました。

各市の担当者から施策の説明を受け、現場の声を聞くことは大変勉強になりました。
今後の議会活動に活かしてまいります。



総務環境常任委員会 令和5年11月14日(火)・15日(水)

千歳市 防犯・防災対策について

防災学習交流センター「そなえーる」を視察。住民要望や住民懇話会での議論を踏まえて、防災学習交流施設の整備が決定し、平成22年4月にオープン。災害を学ぶ・体験する・備えるをキーワードに、体験型の起震・煙避難・予防実験装置・避難器具等を備えている。雨水調整池や消火体験、救出体験のできる広場、野営生活訓練広場、河川災害訓練広場、土のう訓練広場、サバイバル訓練広場等、多様な学習や体験ができる広場がある。



札幌市 DX化の推進について

1980年代以降、ICTによるまちづくりを推進。「札幌DX推進方針」を策定し、ICT・データを駆使することにより、人の手だけでは実現できない飛躍的な業務の変革や、市民起点の行政サービスの提供と向上、スマートシティの実現、地域産業のデジタル化に重点を置いた事業を進めている。住民の利便性向上のための行政のDX化であり、デジタルデバイドのサポート体制等、誰もが使える仕組みづくりを目指している。



文教厚生常任委員会 令和5年10月3日(火)・4日(水)

大垣市 子育て日本一を目指した各種政策について

平成22年に大垣市子育て支援条例を施行。子育て支援計画により様々な施策を実施するとともに、支援事業の実施状況評価も行っている。家事・育児援助、親子でのお出かけ支援、出産祝金支給、高校世代までの子ども医療費の助成と養育費手続、子育てアプリや子育て応援メールなど、様々な先進的子育て施策を拡充している。保育士の復帰支援セミナーの開催やICT活用による保育業務の支援など、保育士の待遇改善にも取り組んでいる。



豊橋市 こども若者総合相談支援センターについて

平成24年にネグレクトによる4歳児の死亡事件が起き、再発防止対策として、こども未来部を設置、他部署、教育委員会と連携した体制が作られた。子育て家庭の把握や地域による見守り意識を高めるため、民生委員・児童委員と連携して、新生児のいる家庭を訪問する事業をはじめ、不登校児童や施設退所時、ヤングケアラーなどの各種支援、見守り宅食事業、若者(40歳未満)相談窓口など、様々な事業を実施している。



市政に対する一般質問ダイジェスト

和光市のこんなことを聞きました

【一般質問とは】市政全般について、各議員が様々な角度から執行機関に対し事務の執行状況及び将来に対する方針等について報告、説明を求めて質問するものです。市民要望を交えながら議員自身の意思に基づいて質問することにより、より良き方向へ執行機関的回答を引き出していくもので、各議員が力量を発揮する場でもあります。（発言順位の順番で並んでいます）

姉妹都市ロングビュー市への市民派遣事業の成果と市民への積極的な情報発信を



うちやま けいこ
内山 恵子（緑風会）

質問▶今年度の市民派遣事業の成果と市民への周知について伺います。

企画部長▶現地の市民と直接触れ合うなど、通常の海外への渡航では得ることのできない貴重な経験を通じて、多文化共生の意識を高めるきっかけとなったものと認識しています。来年1月下旬から2月上旬に、市庁舎1階及び市民文化センター展示ホールにおいて資料展示と市民向けの報告会を開催予定です。

その他の質問▶防災

自治体間連携の発展を



はぎわら けいいち
萩原 圭一（改革会）

質問▶本市は朝霞市・新座市・志木市と朝霞地区一部事務組合（消防・し尿処理・障害者施設）を共同運営している。また、朝霞市とのごみ広域処理施設や4市での火葬場の整備も目指しており、職員の相互派遣なども行っている。今後、自治体間連携にどのように取り組んでいきますか。

企画部長▶自治体間連携は地域全体の安全や発展に寄与する重要な取組なので、住民サービス向上や効率化になるものは積極的に検討し、他市の好事例を調査研究します。友好都市などとの交流や災害時の相互応援も進めます。

介護者調査では把握しきれない点を改めて調査し、実情の把握をすべきではないか



すがわら みつる
菅原 満（新しい風・希望）

質問▶令和3年度に教育委員会でアンケートを行っていますが、子供たちにヤングケアラーの内容を示して調査を行うことが必要と考えます。この点について伺います。

子どもあんしん部長▶ヤングケアラーの定義、対象とする児童の年齢も広範であり、一律の調査での把握は難しいと考えています。現在は、個別支援の中で実態を把握しています。今後、個別の支援とともに、情報の集約や分析を進め、実態の把握方法等を検討していきます。

その他の質問▶公共交通、不登校支援、水道水質等

自転車の逆走禁止に関する啓発について



かたやま よしひさ
片山 義久（緑風会）

質問▶車道上において自転車の進行方向を示す青い矢羽根マークの路面標示や逆走禁止を啓発する看板設置などの整備状況について伺います。

都市整備部長▶令和6年度から着手予定の取組の中で、自転車通行空間における矢羽根の標示などの整備についても、検討していきます。

その他の質問▶学校生活支援員の配置、仮設道路・迂回路の安全対策、調整池の平時における利活用、アーバンアクア公園サッカー場の利用状況と適正利用等

不登校児童・生徒の状況と支援対策は



さいとう さちこ
斎藤 幸子（公明党）

質問▶不登校になり、学校という学びの環境がなくなった子供の居場所づくりへの支援が必要です。不登校となる児童・生徒が増加傾向にある中で、教育委員会の取組を伺います。

教育長▶児童・生徒、保護者には電話連絡、面談、家庭訪問で状況を確認しています。教育支援センターの拡充や各学校への教育相談室の設置、不登校児童・生徒への支援を行ってきました。学びの場や居場所づくりを中心とした新たな支援策を検討していきます。

その他の質問▶子育て支援、健康づくり、選挙、水道

子ども医療費助成制度の入院・通院をともに18歳の年度末まで無償化を



とりかい まさし
鳥飼 雅司（日本共産党）

質問▶子どもの保健の向上と福祉の増進を図り、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子ども医療費を18歳の年度末まで無償にすることを強く求めます。見解を伺います。

子どもあんしん部長▶県の方針を受けて、令和6年度中に入院・通院ともに対象年齢を18歳の年度末まで拡大する方向で実施できるよう進めたいと考えています。

その他の質問▶マイナ保険証、脳ドック検査の助成、駅北口開発の進捗状況、国道254号和光バイパス等の進捗状況等

農作物被害の現状とアライグマの防除に対する市の対応は



わたなべ たつゆき
渡邊 竜幸（緑風会）

質問▶単独市での防除だけでは対策効果が薄いので、広域対策が有効と考えます。広域となると市長の手腕に期待をするところです。アライグマ防除に対する考えを伺います。

市長▶市内だけでなく日本全国で被害が増加している状況を踏まえ、広域的な防除も重要な視点ではないかと考えています。県に相談の上、広域的な防除の可能性を検討していきます。

その他の質問▶公共交通、DX、防災、施設管理計画、狭隘化対策、不祥事の再発防止

年齢や性別、育った環境などに関係なく誰もが憩える空間をつくるために



よしだ いくよ
吉田 活世（日本共産党）

質問▶東京外かく環状道路蓋掛け上部の丸山台地区は約6億円をかけて補強しています。市民がくつろいだ時間を過ごせる環境を望みますが、市の利活用方針を伺います。

企画部長▶市民ニーズの掘り起こしに当たり、そこに出向けばくつろいだ時間を過ごせるような環境についても、トライアルサウンディングや公共空間利用プロジェクト等の試みを通して、にぎわいの創出とともに検討します。

その他の質問▶公園内公衆トイレの清掃状況と設計、小・中学校のタブレット端末、公文書の開示請求

11月11日に発生した濁水の広報対応



よしだ たけし
吉田 武司（緑風会）

質問▶濁水の広報対応として、ホームページ等のほか、防災行政無線の活用はできなかったのか、防災行政無線を地域別に活用することができなかったのか伺います。

上下水道部長▶原因が完全に特定できなかったこと、また、発生が一部地域であることや対応が深夜まで続いたこと等と、防災行政無線が地域別に放送ができるという認識がなかったことから、防災行政無線の放送は行いませんでした。

その他の質問▶公共交通、消費者問題、教育行政等

医療的ケア児の人工呼吸器用バッテリー等の購入補助制度を



まちどり よしこ
待鳥 美光（新しい風・希望）

質問▶医療的ケア児の人工呼吸器用バッテリー等購入の補助について、市の取組を伺います。

子どもあんしん部長▶福祉部等関係部局と協議し、ふだんの外出時や災害時の備えのため、障害者総合支援法に基づく日常生活用具の給付制度の対象品目に追加する方向で、令和5年度中の施行を目途に実施要綱の見直しを図っております。改正後、速やかに周知を図っていきます。

その他の質問▶高齢者福祉（セルフネグレクト※1対策、地域包括支援センターの評価指標等）、交通弱者対策等

「昇進したくない女性」が多い市役所において、家庭との両立を改善し、女性活躍を



かまだ やすはる
鎌田 泰春（国民民主党・日本維新の会）

質問▶市職員のうち40代女性の「昇進したくない割合」は50%であり、課題があります。初の女性市長として、女性の昇進への抵抗感をどのように改善していくのか伺います。

市長▶意欲のある女性が活躍できるように、女性の昇進における課題や職場環境を改善し、何よりも私自身がロールモデルとなるように頑張っていきたいと考えています。

その他の質問▶がん対策、保育料の過誤納入、水道事業の広域化、DX推進計画、医療と介護の連携等

循環バスで新たに導入されるマイクロバスやワゴン車の運行に際し車いす対応は



まつなが やすえ
松永 靖恵（やさしい未来へ歩む会）

質問▶令和6年4月から障害者差別消滅法が改正され、事業者の合理的配慮の提供が努力義務から義務化されることで新たに導入される車両の車いす対応について伺います。

都市整備部審議監▶導入される車両には車いす対応をしていませんが、合理的な配慮の提供を行うため予備のワゴン車の改造や、別のモビリティが駆けつけるようにするなど至急対応を検討します。

その他の質問▶通勤手当不正受給、公益通報、組織改正、DET研修、自立支援協議会、特別支援学級設置等

※1【セルフネグレクト】自己管理ができず、生活環境や栄養状態が悪化している状態。必要な介護や医療サービスを求めて、周囲からの勧めを拒否するなど、自分自身を大切にしていないことから「自己放任」と訳される。

※2【リプロダクティブ・ヘルス／ライツ】性と生殖に関する健康と権利。性や子供を産むことに関わるすべてにおいて身体的・精神的・社会的に良好な状態、自分の意思が尊重され自分の身体に関する事を自分で決める権利の総称。

国道254号和光バイパス事業への市民の皆さんの納得が得られる取組を求めます



こじまともこ
小嶋 智子 (やさしい未来へ歩む会)

質問▶ 東京都とどこで繋がるのか決まっていないにもかかわらず、水道道路を活用できない理由とする高圧鉄塔と首都高速道路との交差への対応が困難という都内の事情を優先し、住民からは多くの疑問の声があり、納得も得ていません事業を進めるのは無責任ではないですか。

都市整備部長▶ しっかりと事業の進捗に合わせて、県とともに説明を行っていきます。

その他の質問▶ 自動運転サービス導入事業、緑化対策市役所【事業】総点検等

男女共同参画の理念を各部署の施策に反映し、女性活躍推進の社会を



いとうたえこ
伊藤 妙子 (公明党)

質問▶ 女性の世代ごとの健康情報を知る機会となるセミナーを、市民が参加しやすい会場の工夫で開催してはいかがでしょうか。

企画部長▶ 提案のような、プレコンセッションケアや、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ※2などをテーマとしたセミナーを前向きに検討します。女性の生涯を通じた健康支援で、女性活躍推進に繋げます。

その他の質問▶ 市民プールの利用補助券で高齢者の健康づくり、HPVウイルス感染簡易キットの導入で子宮頸がんの予防推進等

「和光市路上喫煙の防止に関する条例」の一日も早い改正を



いわさわ ゆうき
岩澤 侑生 (国民民主党・日本維新の会)

質問▶ 9月定例会で路上喫煙防止条例の改正に向けた検討状況を質問したところ、「3月の議会に上程できれば」との答弁がありました。その後の取組について伺います。

市民環境部長▶ 環境審議会からの答申を得て、3月定例会への議案上程に向けて府内の例規審査を終えたところです。12月20日から1月8日までパブリックコメントを実施し、1月29日に結果を公表する予定です。

その他の質問▶ 子ども医療費助成制度の18歳年度末までの対象年齢引き上げについて、濁り水の発生について等

産業振興と、市と市内業者との関係構築のため、市内業者が入札に参加できる基準への改訂を



あんぽともひろ
安保 友博 (やさしい未来へ歩む会)

質問▶ 市内業者に加点をする方法などにより実績をつくりやすくし、より大きな工事ができる業者を育てて欲しいのですが、市の考えを伺います。

企画部長▶ 市内業者の育成については、入札において可能な限り市内業者に発注できるよう、選定委員会において配慮しています。また、一般競争入札参加資格要件設定ガイドラインの改正を行い、市内業者の競争入札参加の機会を増やす取組も行っています。

その他の質問▶ 部活動の地域移行、上下水道事業の経営方針、ESCO事業、市の責任の取り方等

遅れている特別養護老人ホーム建設公募事業者が無い理由と今後の対策を問う



あかまつ ゆうぞう
赤松 祐造 (和光・まちづくり市民の会)

質問▶ 埼玉県内で特養ホーム（60人収容）が一つしか無い市は和光市だけ、市民の多くが他市の遠くの施設を使わざるを得ない。家族が見舞に行くのにとても不便です。市の取組状況を伺います。

健康部長▶ 2回の公募には応募がなく、土地や人材確保、29人規模での採算性等が理由と考えます。定員数変更等、募集環境を整え、早期整備を目指したいと考えています。

その他の質問▶ 北口駅前広場の設計、交通弱者対策、旧態の市民葬儀制度の見直し、地球温暖化対策・SDGs等

TOPICS

令和5年度朝霞地区議長会議員研修会を受講 【11月10日(金)】

志木市民会館仮設会議室において、自治体議会研究所代表の高沖秀宣氏を講師に「ポストコロナの議会改革」というテーマで研修会が行われました。研修会では、議会は議事機関としてどのように民意を反映できるか、監視型議会から政策提言型議会を目指すべきである等の講義を受けました。

議論を深めるために議員間討議を行うことや、社会状況に応じた多様性のある議会の重要性について改めて考える機会となりました。



朝霞地区議長会議員研修会

12月定例会 常任委員会の審査

和光市議会録画中継

検索

本会議における議案の議決に先立ち、議員で構成する各常任委員会で審査を行いました。ここでは、主な内容を報告します。本会議での委員長報告の全内容は、ぜひ動画でご覧ください。



総務環境常任委員会 委員長 吉田 武司

和光市まちづくり条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 この条例の改正に至った経緯を伺う。

答 社会環境が変化し、よりまちづくりの推進の必要性が増したこと、そして、事業者との開発の手続の中で、様々な課題が出たため、適正化を図る必要がありました。

問 戸数が50以上の集合住宅を対象に、専用面積50m²以上の家族向け住戸を設置するという、その数字の根拠を伺う。

答 50戸以上の戸数については、集会施設、防災倉庫、広報掲示板等の設置を規定していることから、50戸以上としました。50m²以上とした根拠は、国

土交通省の住生活基本計画の中で最低居住面積水準が示されており、今回は4人家族を想定し、世帯人数掛ける10m²に10m²プラスということで、50m²を専有面積の基準としています。

陳情第7号 資産課税の軽減等に関する陳情書 【不採択(全員反対)】

農業を取り巻く環境は厳しいと感じているため、趣旨は理解できる。しかし、ほかの産業との兼ね合いや市の財政に与える影響も考えると、積極的に賛成することは難しいとの意見がありました。

●今定例会では、議案3件、陳情1件が付託され、審査を行いました。

文教厚生常任委員会 委員長 赤松 祐造

第三小学校の土地取得について

問 土地取得後の建て替えについてスケジュールを伺う。

答 令和6年度は基本計画の策定、民間公共施設などの複合化の検討、基本設計の準備を行い、令和9年度の改築を目指す予定です。

和光市子ども医療費助成に関する条例の一部改正について

問 市税や保育料等の完納要件が撤廃された場合、受給者が何人くらい増えるのか伺う。

答 完納要件により受給できない方は、令和3年度

が3件、令和4年度が16件でした。

損害賠償の額の決定及び和解について

問 市として責任を認めているが、求償権以外の責任の取り方について伺う。

答 コンプライアンスを推進し、内部統制をしっかりといくことだと考えています。

問 議会が否決とした場合の対応は。

答 その旨を裁判所に伝え、最終的に判決に至ると考えます。

●今定例会では、議案4件が付託され、審査を行いました。

予算決算常任委員会 委員長 菅原 満

一般会計補正予算(第5号)

問 寺の上地区急傾斜地崩壊対策事業1,800万円の補正の理由について伺う。

答 この事業は県の事業ですが、市の負担金の部分があり、それに対しての起債です。

問 国道254号バイパスと県道での県の負担を伺う。

答 公共施設管理者負担金として県から諏訪越一四ツ木線を合わせた額として約68億円が北インター東部地区土地整理組合に支払われます。あくまで計画です。

問 国家賠償法の和解金額に何か判断基準があるのか、また、市としての責任の受止め方を伺う。

問 まだ係争中ありますが、その中で裁判所から和解案が示されている状況です。具体的な内容は把握していません。国家賠償法に基づく損害賠償請求になり、公権力の行使に当たる公務員の行為という形を認めた上で和解で、市として責任があるというの全員協議会でも答弁しています。

●今定例会では、議案4件が付託され、総務環境分科会及び文教厚生分科会で審査を行いました。

